

令和2年第1回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第5日目）
経済建設分科会審査記録

- 1 日 時 令和2年3月12日（木） 午前10時16分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第50号 令和元年度村上市一般会計補正予算（第11号）
議第10号 令和2年度村上市一般会計予算
- 4 出席委員（10名）
- | | | | |
|------|--------|-----|--------|
| 1番 | 川崎健二君 | 2番 | 山田勉君 |
| 3番 | 本間善和君 | 4番 | 竹内喜代嗣君 |
| 5番 | 小林重平君 | 6番 | 大滝久志君 |
| 7番 | 小田信人君 | 8番 | 川村敏晴君 |
| 副委員長 | 鈴木いせ子君 | 委員長 | 大滝国吉君 |
- 5 欠席委員
なし
- 6 傍聴議員
稲葉久美子君 渡辺昌君 木村貞雄君
- 7 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者
なし
- 9 説明のため出席した者
- | | |
|---------------|-------------|
| 副市長 | 忠 聡君 |
| 農林水産課長 | 大滝敏文君 |
| 同課農業振興室長 | 小野道康君（課長補佐） |
| 同課農業振興室副参事 | 中川博之君 |
| 同課農業振興室係長 | 本保敦志君 |
| 同課林業水産振興室長 | 稲垣秀和君（課長補佐） |
| 同課林業水産振興室副参事 | 伊藤幸夫君 |
| 同課林業水産振興室副参事 | 臼井信一君 |
| 同課食材魅力推進係長 | 小田朋子君 |
| 農業委員会事務局長 | 小川良和君 |
| 地域経済振興課長 | 川崎光一君 |
| 同課経済振興室長 | 山田昌実君（課長補佐） |
| 観光課長 | 大滝寿君 |
| 同課観光交流室長 | 片岡昌幸君（課長補佐） |
| 同課観光交流室副参事 | 齋藤健一君 |
| 都市計画課建築住宅室副参事 | 宮村勉君 |
| 荒川支所産業建設課長 | 渡邊修君 |
| 神林支所産業建設課長 | 瀬賀豪君 |
| 朝日支所産業建設課長 | 大滝清考君 |
| 同課産業観光室長 | 小池一栄君（課長補佐） |
| 山北支所産業建設課長 | 加藤泰君 |

10 議会事務局職員

局 長 小 林 政 一
副 参 事 鈴 木 渉

(午前10時16分)

特別委員長(大滝国吉君)開会を宣する。

○当特別委員会の審査については、当特別委員会に設置した経済建設分科会の所管事務について審査することとし、同分科会の審査については、分科会の会長には常任委員長が、副分科会長には常任副委員長が就任し、議事運営することとした。

分科会長(川村敏晴君)経済建設分科会の開会を宣する。

○本日の審査は、議第10号及び議第50号のうち農林水産課、地域経済振興課、観光課及び農業委員会所管分について審査する。

日程第9 議第50号 令和元年度村上市一般会計補正予算(第11号)のうち当分科会所管分を議題とし、担当課長(農林水産課長 大滝敏文君、地域経済振興課長 川崎光一君、農業委員会事務局長 小川良和君)から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第14款 国庫支出金

(説明)

地域経済振興課長 それでは、10P、11Pをお開きください。14款国庫支出金、2項国庫補助金、7目1節商工費国庫補助金、説明の1、社会資本整備総合交付金2,922万5,000円の減である。これは、昨年6月18日に発生いたした震災に対する被災住宅リフォーム事業補助金に対する国庫補助金の減である。理由といたしては、震災当初実施いたした罹災調査結果に基づき、入梅時期でもあったため、まずは早急に屋根の修繕が急務との判断から、屋根被害に遭った世帯を対象に国、県から補助をいただき、被災住宅リフォーム事業を設立し、実施いたしたが、屋根の被害が軽度であったことなどから申請件数が予想より伸びなかったことを受けて、8月に入り、罹災世帯へ戸別訪問調査を実施いたした。9月には屋根の改修に加え、外壁や基礎の改修も対象とし、補助内容を拡充いたした。その結果、交付決定件数は拡充前46件、拡充後62件、合わせて108件の申請をいただき、おおむね事業が確定いたしたので、今回それに合わせて歳入を減額するものである。以上だ。

第15款 県支出金

(説明)

農林水産課長 15款2項4目の農林水産業費県補助金の1節農業費補助金、1の担い手確保・経営強化支援事業補助金、これ新規になるけれども、411万円、こちらについては国の令和元年度補正に伴う機械施設支援に係るものであって、要望調査を行った結果、1件の農業経営体からトラクター1台、それからそれに付随するドライブハロー、代か

き用アタッチメントであるけれども、これの導入に係る申請があったものである。
以上である。

農業委員会事務局長 同じく農林水産業県補助金の説明 2、農地利用最適化交付金860万1,000円についてだが、これは平成29年度から交付を受けているもので、農地利用の最適化の推進に関する業務が農業委員会の必須業務に位置づけられたことから、定額の報酬に上乗せされる報酬の支払いをするための財源として交付されるものだ。各委員の農地利用の最適化に関する活動に対する活動実績分といたして221万7,000円と、12月末までの1年間における農地の集積の実績数値による成果実績分として638万4,000円で、全額農業委員、推進委員の報酬に充てるものである。

農林水産課長 3節水産業費補助金の水産物供給基盤機能保全事業補助金304万2,000円の減額であるけれども、当初桑川漁港と脇川漁港の整備費といたして923万2,000円の交付申請を行ったところであるけれども、桑川漁港整備のみの619万円の交付決定がなされたことによって減額を行うものである。以上である。

地域経済振興課長 続いて、同ページ、8目1節商工費県補助金、説明1、木造住宅耐震改修事業補助金1,461万2,000円の減である。これは、先ほどご説明いたした被災住宅リフォーム事業費補助金に対する県補助金の減である。以上だ。

歳入

第14款 国庫支出金

第15款 県支出金

(質 疑)

本間 善和 13Pのところお聞かせ願いたいと思うが、1番目にまず担い手確保の新規の事業だけれども、農林水産課長、1件あったということなのだけれども、これの新規事業ということでこの採択の主な要件というのは、ちょっと概略で、こんな方の事業主は採択になるのだよということと、補助率をあわせて一緒にお願いしたいと思う。

農林水産課長 こちらについては、補助対象については人・農地プランに位置づけられた中心経営体であり、かつ認定農業者、認定就農者、もしくは集落営農組織、または農地中間管理機構から賃借権等の設定を受けている者ということであって、補助率については2分の1の事業となる。

本間 善和 水産物の関係で、農林水産課長、減額になったと、採用できなかったということで、桑川だけが採用になった、脇川は採用できなかったということなのだけれども、この脇川の採用できなかったというのは要項にも載らなかったのか、ということは令和2年度にまた要望してもだめなのか、どういうことで採用漏れになったのだろうか。

農林水産課長 脇川漁港の船揚げ場保全工事なのであるけれども、こちらは令和2年度当初予算に計上しており、実施する予定になっている。

本間 善和 ありがとうございます。

歳出

第6款 農林水産業費

(説 明)

農業委員会事務局長 それでは、22P、23Pをごらんください。6款1項1目農業委員会費、1の農業委員会事務局経費、農業委員会委員・推進員報酬860万2,000円だが、これは先ほど歳入で申し上げた農地利用最適化交付金を全額報酬費として充てるものであ

る。以上だ。

農林水産課長 2目農業総務費の農業総務費職員人件費67万7,000円については、時間外勤務手当の増額補正となるものである。続いて、25Pをごらんください。3目農業振興費の負担金、補助及び交付金の411万円は、先ほど歳入でも申し上げた担い手確保・経営強化支援事業補助金であって、その予算計上である。続いて、5目農地費の負担金、補助及び交付金の農地等経費の県営団体営土地改良事業等負担金2,526万4,000円の減額であるけれども、こちらは県営事業費が確定し、事業費が減となったことに伴う市負担金の減額である。続いて、3の農業土木職員人件費41万4,000円は、時間外勤務手当の増額補正となる。続いて、2項林業費、1目林業総務費の林業総務費職員人件費22万6,000円についても時間外勤務手当の増額補正となる。続いて、その下、2目の林業振興費については、財源更正となっているけれども、羽下ヶ淵地内の小規模治山工事ののり面崩落対策工事に係る事業で、一般財源分の510万円を治山事業債に充てたことによる財源更正である。その下の3の林道維持費の財源更正については、林道改良工事12カ所に係る工事について、一般財源分について林業整備事業債2,150万円を充てたことによるものである。続いて、3項水産業費、4目漁港建設費の工事請負費423万1,000円の減額であるが、こちらは県補助事業の減額交付決定に伴う脇川漁港整備費の減額である。

第7款 商工費

(説明)

地域経済振興課長 続いて、7款商工費、1項商工費、2目商工業振興費、19節負担金、補助及び交付金、説明の1、被災住宅リフォーム事業経費5,845万円の減である。これは、先ほど歳入でご説明いたした被災住宅リフォーム事業補助金の歳出分の減額である。以上だ。

第11款 災害復旧費

(説明)

農林水産課長 29P ごらんください。11款災害復旧費、1項1目農地農業施設災害復旧費の工事請負費232万7,000円の減額であるが、主に朝日地区の豪雨災害、それから山北地区の震災、地震災害に係る復旧工事であるが、そのうち山北地区の4件の災害発生箇所について、地すべり地区のために県施工により工事を行ったことによる減額となる。31P ごらんください。2目林業施設災害復旧費の工事請負費62万3,000円の減額であるが、工事の請け差による不用額となる。以上である。

第2表 繰越明許費

(説明)

農林水産課長 それでは、5P ごらんください。第2表、繰越明許費である。6款農林水産業費の1項農業費の農業振興経費411万円であるけれども、今ほど歳入歳出予算でも申し上げた国の令和元年度補正による担い手確保・経営強化支援事業のトラクター及びドライブハローの導入に係るもので、年度内に導入ができないため、翌年度に繰り越すものである。続いて、その下、3項水産業費の漁港施設整備経費1,422万3,000円は、平成31年度水産物供給基盤機能保全事業の桑川漁港南防波堤の保全工事において、工事施工に当たり地元漁業関係者からの漁の繁忙期及び遊覧船の繁忙期を避け

るよう要望があり、調整に不測の日数を要したことにより年度内施工が困難となったため、繰り越すものである。以上である。

歳出

第6款 農林水産業費

(質 疑)

なし

第7款 商工費

(質 疑)

なし

第11款 災害復旧費

(質 疑)

なし

第2表 繰越明許費

(質 疑)

なし

日程第10

議第10号 令和2年度村上市一般会計予算のうち当分科会所管分を議題とし、担当課長（農林水産課長 大滝敏文君、地域経済振興課長 川崎光一君、観光課長 大滝寿君、農業委員会事務局長 小川良和君）から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第13款 分担金及び負担金

(説 明)

農林水産課長 それでは、20、21Pをごらんください。13款分担金及び負担金の1項1目農林水産業費分担金、1の農業施設分担金84万6,000円であるけれども、こちらは朝日地区、朝日畜産団地の基本施設1台及び神林地区畦畔修繕工事、山北地区用水路改修工事に係る地元受益者負担分担金として徴するものである。

第14款 使用料及び手数料

(説 明)

地域経済振興課長 それでは、22P、23Pをお開きください。下のほうになる。14款使用料及び手数料、1項使用料、4目1節労働使用料、説明の1、勤労者総合福祉センター使用料115万6,000円である。こちらのほうクリエート村上勤労者レクリエーション施設の施設使用料である。その下、説明の2、行政財産使用料4万9,000円、高等職業訓練校にある電柱2本、行政財産目的外使用による貸付使用料である。それから、事務室の一部を建築共同事務所として貸し付けている使用料である。以上だ。

農林水産課長 5目農林水産業使用料であるけれども、農業使用料の1、農村環境改善センター使用料から次のページの25Pの4の朝日まほろば夢農園使用料、こちらについては前

年度とほぼ同額を計上している。以上である。

観光 課長 その説明欄の5、行政財産使用料、観光の部分になるが、交流の館「八幡」の脇にある、併設されているかがり火の使用料とN T T柱の使用料である。昨年度とほぼ同額になる。

農林水産課長 2節の水産業使用料の1、イヨボヤ会館入館料については、前年度比600万円の減となって、2,200万円を見込んでいる。理由としては、大型ツアーによるコース変更による減少、それから韓国人ツアーを初め中国、台湾観光の外国人の大幅な減少によるものである。次に、その下、漁港施設占用料については11万6,000円を見込んでいる。

地域経済振興課長 同ページ、6目1節商工使用料、説明の1、露店市場使用料100万円、こちら定期市場、各種大祭に出店する際の出店料である。次に、説明の2、行政財産使用料99万1,000円、対前年比ほぼ同額、坪根工業団地の電柱20本、山北中浜工業団地の土地建物など、行政財産目的外使用による貸付使用料である。

観光 課長 続いて、同じく6目の2節観光使用料になる。金額が合計で1,237万円、説明欄の1から4はそのとおりなのだが、行政財産使用料といたして桑川道の駅のN T T柱等の使用料に行政財産使用料の内訳はなっている。以上だ。7目の土木使用料、1節道路使用料になるが、説明欄の1、行政財産使用料といたして桑川駅業務室、それから電柱使用料で44万1,000円を計上させていただいている。

農林水産課長 3節都市計画使用料の1、都市公園施設使用料であるけれども、こちら1万6,000円計上しているが、鮭公園のガス管敷設及びマルシェ開催等に係る使用料である。

観光 課長 その下、説明欄2と3になる。都市公園施設使用料で南大平ダム公園のキャンプ場と天体観測施設の使用料、それから行政財産使用料といたしてお幕場森林公園の使用料を計上している。

農業委員会事務局 長 それでは、26、27Pをごらんください。14款2項4目農林水産業手数料のうち1節農業手数料、農業委員会諸証明手数料45万円だが、これは、耕作証明等の証明書の手数料で1件300円、これを前年度の実績から1,500件分を見込んで計上いたしました。以上だ。

農林水産課長 27Pの2節の火入手数料1万円であるが、こちらは例年どおりの予算計上となっている。以上である。

地域経済振興課長 同じく同ページ、5目1節商工手数料、説明の1、露店市場出店許可手数料1万2,000円、市場に露店を定期出店する際の許可証を発行手数料である。以上だ。

第16款 県支出金

(説明)

農林水産課長 32、33Pをごらんください。16款県支出金の2項県補助金の4目農林水産業費県補助金であるけれども、1節農業費補助金の主なものを説明させていただく。一番上、1の農林水産業総合振興事業費補助金2,000万円であるが、こちらはパイプハウス、トラクター、田植え機、コンバイン等施設機械整備に係る県補助金である。1つ飛んで3の中山間地域等直接支払交付金6,707万7,000円については、37集落組織へ交付するものである。1つ飛んで5の県単農業農村整備事業費補助金2,187万3,000円は、瀬波排水機場逆流防止弁改修工事及び遠矢崎用水路改修工事に係る県補助金である。2つ飛んで8番目の青年就農支援事業補助金900万円であるが、これは国の制度であって、1年間150万円の定額であって、受給者6人分を計上している。12番の

多面的機能支払交付金 2億5,553万9,000円は、農地維持支払い、資源向上支払いの共同活動140組織及び資源向上支払いの排水路等の長寿命化で75組織に対するものである。下から2番目の16の強い農業・担い手づくり総合支援交付金600万円は国の補助制度であって、農機具の導入のために借り入れた融資残に対する交付金である。一番下、17の防災減災事業交付金9,011万2,000円は、ため池の廃止工事及び設計業務とハザードマップ作成に係る国100%の交付金である。以上だ。

農業委員会事務局長 それでは、35Pをごらんください。同じく農林水産業費県補助金だが、説明18番、農業委員会交付金628万9,000円は、こちらは農地法に係る事務の補助金だ。20番、機構集積支援事業補助金208万円、こちらは中間管理機構関連の事務費の補助になる。19番、農地集積・集約化促進事業補助金は、1年間に農地中間管理事業を活用した農地の集積、集約に取り組んだ地域及び経営転換した農業者に対して交付されるもので、また21番、農地利用最適化交付金については、先ほど補正のところでも説明させていただいたが、12月末の実績数値等により交付されるもので、いずれも今回は項目のみの計上とさせていただいた。以上だ。

農林水産課長 続いて、2節林業費補助金であるが、1の森林病虫害等防除事業補助金878万3,000円は、95ヘクタールの松林の散布に係るものである。次、2番目の県単林道事業補助金、こちらについては8路線に係る2,250万円の歳入を見込んでいる。それから、2つ飛んで5番目の小規模補助治山事業補助金900万円は、羽下ヶ淵地内の治山事業に係る補助金である。続いて、3節水産業費補助金であるが、2つ目、水産物供給基盤機能保全事業補助金750万円は、脇川漁港船揚げ場保全工事事業に係るものである。続いて、8目災害復旧費県補助金の林道施設災害復旧事業補助金1,000円は、項目計上を行うものである。

地域経済振興課長 続いて、1Pめくっていただいて36P、37Pである。4項県貸付金、1目1節地方産業育成資金県貸付金、説明の1、地方産業育成資金県貸付金2,500万円、この貸付金2,500万円に市のほうでさらに2,500万円を加え、合わせて5,000万円を市内各金融機関へ村上市制度融資、地方産業育成資金の預託金として無利子で預け入れているものである。

第17款 財産収入

(説明)

地域経済振興課長 続いて、同じく同ページの17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入、1節土地貸付収入、説明の2、土地貸付収入115万円である。こちらは、山北工業団地の土地貸付収入3件分である。続いて、2項財産売払収入、1目不動産売払収入、1節土地売払収入、説明の2、土地売払収入1,838万2,000円であるが、こちらのほう神林工業団地の土地売払収入1件分である。令和2年度に売り払い予定となっている。以上である。

農林水産課長 2節建物売払収入の2、畜舎等売払収入532万円は、朝日畜産団地に係る2経営体分である。続いて、2目物品売払収入の2、農機具等売払収入4万円についても朝日畜産団地に係る分である。

第21款 諸収入

(説明)

地域経済振興課長 続いて、40P、41Pである。21款諸収入、4項1目貸付金元利収入、1節労働

費貸付金元利収入、説明の1、労働金庫預託金元利収入5,000万1,000円である。労働者向けの貸付融資の預託金として預け入れした分の償還金である。続いて、2節商工費貸付金元利収入、説明の1、地方産業育成資金預託金元金収入5,000万円である。こちらは、先ほどご説明いたした県からの貸付金2,500万円、市からの2,500万円、合わせて5,000万円を制度融資資金として預託したもの、無利子で預け入れた分の償還金である。続いて説明の2、中小企業振興資金預託金元金収入6億円、村上市制度融資、中小企業振興資金である。預託金として無利子で預け入れた分の償還金である。続いて、説明の3である。住宅等建設資金貸付預託金元金収入183万円である。旧村上市の制度である定住促進住宅建設資金の貸付残高の一部を預託金として無利子で預け入れた分の償還金である。続いて、44P、45Pである。6項6目雑入、4節労働雑入、説明の1、2であるが、こちら両方とも勤労者総合福祉センター、クリエート村上の雑入である。以上だ。

農林水産課長 同じページ、5節の農林水産業雑入では、前年度とほぼ同額を計上しているけれども、6番目、過年度中山間地域等直接支払交付金返還金22万5,000円とあるけれども、こちらについては山北地区の朝日温海道路の事業用地の買収された農地について、県に交付金を返還することとなっているために計上しているものであるけれども、現段階で集落、それから面積等が特定されているものではない。以上である。

農業委員会事務局長 同じく農林水産業雑入の説明10番、農業者年金業務委託金148万6,000円、これは農業者年金に係る事務に対する独立行政法人農業者年金基金からの委託金だ。11番、農地中間管理特例事業業務委託金2万6,000円、これは農地中間管理事業のうち公社が買い入れ、または借り入れた農地等の管理などの特例事業に係る事務に対する委託金だ。12番、農地中間管理事業業務委託金323万円、これは12番で説明した特例事業以外の農地中間管理事業に係る事務に対する委託金だ。13番、農地等精通者意見価格調査謝金1万9,000円、これは農地の価格についての調査について報告したことに対する謝金であって、国税庁から支払いされるものだ。以上だ。

地域経済振興課長 同ページ、6節商工雑入、説明の1、各種大祭臨時電灯設備料80万円である。こちらほぼ前年同額である。説明の2、村上大祭臨時ごみ収集所使用料11万円、前年同額である。以上だ。

観光 課長 それでは、自動販売機設置電気料ということでふれあいセンター、脇川、板貝、桑川の駐車場に設置してある自動販売機の電気料になる。それから、海浜施設光熱水費の負担金といたして山北地区の海水浴場6地区の負担金である。それから、5番目の温泉使用料については、山北徳洲会病院へ温泉を供給している使用料になる。それから、三面避難小屋の協力金として、宿泊協力金ということで1万円を計上している。それから、7番の公衆電話取扱手数料については、ふれあいセンターの公衆電話の手数料になる。それから、7節土木雑入の説明欄1番、公衆電話取扱手数料については、道の駅神林にある公衆電話の手数料になる。今までの実績により計上させていただいた。

分科会長（川村敏晴君）休憩を宣する。
（午前10時5分）

分科会長（川村敏晴君）再開を宣する。
（午前11時09分）

歳入

第13款 分担金及び負担金

(質 疑)

本間 善和 農林水産課長、お願いします。農業施設分担金という形で13款だと思うのだけれども、朝日地区の工業団地、山北地区の農業用水路等の分担金という格好だが、これは箇所とかもう決まっているのだろうか。

農林水産課長 農業振興室長に答えさせる。

農業振興室長 箇所だけれども、朝日地区の畜産団地の分と、それと神林の畦畔修繕ということで予算を上げている。箇所については神林のほうでお願いします。

神林支所産業建設課長 神林地区の畦畔については南大平地内である。

山北支所産業建設課長 山北地区に関しては遠矢崎の用水路である。

川村分科会長 よろしいね。

第14款 使用料及び手数料

(質 疑)

本間 善和 農林水産課長、25P、イヨボヤ会館、非常に収入の入館料を下げているが、あなたのほうで見込んでいる人数というのはどのくらい見込んでいるのだろうか。

農林水産課長 約4万2,000人くらいを見込んでいる。ちなみに、令和元年度見込みであるが、3月の4日まで、今休止しているので、4万1,833人の実績である。そこから考えると、4万2,000人が、考えるとということではないのだが、今年度、先ほど説明でも申し上げたとおり、外国人客等かなり減っているもので、そういったことで4万2,000人ほど見込んでいるところである。

第16款 県支出金

(質 疑)

本間 善和 33P、大変恐縮だが、農林水産課長、17番になるか、県補助金の防災減災事業交付金、100%で来るという格好になっているが、このため池というのが初めて出てきたという私感じなのだけれども、あなたのほうで事前に資料で来て、きょう配付されているわけだけれども、この中に入っているのか。

農林水産課長 令和2年度工事計画一覧表のところから上から4つ目、5つ目、6つ目の大須川下池廃止工事、二口廃止工事、堂ヶ沢廃止工事、堂ヶ沢は七湊となるけれども、この3カ所である。

川村分科会長 よろしいね。

本間 善和 はい、いいです。

竹内喜代嗣 33Pの農林水産業費県補助金の中で農業費補助金で1番目から17番目までであるのだが、お聞きしたいのは7番の環境保全型農業直接支援事業交付金になるのだろうか、多面的事業のことで、12番だ、お伺いしたいのだけれども、去年私の集落での話なのだが、これ全般に言えることだと思うのだが、そもそもの出発は圃場整備で排水の流量が、流量掛ける断面で排水量というのは決まるわけなのだが、3反の田んぼと5反の田んぼで排水口の大きさが違う、数が違うとか、したがって従来水害が起きないようなところでも水害が発生するようになったということで田んぼダム of 事業も始まり、さらに田んぼダムの事業を継続するために法律としてこの事業になっ

たというふうに理解しているのだけれども、お伺いしたいのは田んぼダムをきちんとやっているとあぜが崩落するのだ。それを防ぐためにあぜ塗りというのは補助対象になるだろうか。去年まではなかったのだけれども、来年度はどうなるのか、ちょっとお伺いしたいと思う。

農林水産課長 農業振興室副参事に答弁いたさせる。

農業振興室副参事 お答えする。多面的機能支払交付金の場合だと、昨年度と内容的には変わらない。なので、同じ内容となっている。

川村分科会長 今言ったのり面崩壊も補助の対象になるかという。

農業振興室副参事 先ほどの制度の中の共同活動ということの中で実施される場合は、対象になるということになる。

竹内喜代嗣 もう一つ、農業費補助金の中で17番目に防災減災事業交付金ということで、先ほど農林水産課所管でハザードマップというようなご説明があったのだけれども、もうちょっと詳しく教えていただければと思う。

農林水産課長 今現在農業用ため池が59ある。県の防災重点ため池がそのうち22池ある。防災重点ため池に指定されたうち12池については、既にハザードマップを作成しているが、残る10池分についてまだ未整備であるので、令和2年度に国の補助金を使ってこのハザードマップを整備していくということである。

竹内喜代嗣 たった10カ所なので、残り10カ所紹介していただけるか。場所はどこになるか。

農林水産課長 農業振興室副参事に答えさせる。

農業振興室副参事 今ほどの10池について内訳を申し上げる。村上地区で5池ある。そのうち、これは松山地区になるけれども、前堤という池、あと穴堤という池、大蔵堤、苾堤、これが松山になって、あと村上地区残る1つが大月にある堂ヶ崎というため池になる。次、山北地区に1池ある。名前が二口というため池になる。続いて、朝日地区、1池あって、こちらについては杉沢池という池になる。続いて、神林、3池ある。大湖堤、そして沢田堤、そして東山堤の計10池になる。以上だ。

川村分科会長 よろしいね。

竹内喜代嗣 はい。

小林 重平 今のこの県の補助金だけれども、県も財政厳しいということでもかなり補助金等を減らすのではないかというような報道されているわけだけれども、本市においてはそういうマイナス要素はあるのか。予算的に県のほうから補助金は。

農林水産課長 農業関係予算か。

小林 重平 今のところは、どこということではないけれども、県の補助金あるわけだろう。県が今財政厳しいということでもかなり厳しく査定しているわけなので、それが村上市では影響あるかないのか。

農林水産課長 一部報道で松くい防除、こちらについて県単事業で行っているものをやはり事業統合して行うというふうなこともあって、一部影響あるのではなかろうかなというふうに思われるけれども、例えば今申し上げた防災減災事業については、特に影響ないものというふうに考えている。

小林 重平 わかった。

本間 善和 先ほど箇所挙げたわけだけれども、マップをつくらなければならないという箇所、農林水産課長、10カ所ほど。これからマップつくるという箇所に今回工事という格好で入っている箇所が2カ所あると思うのだけれども、これ工事してもマップをつくらなければならないということなのか。

農業振興室副参事 お答えする。同年度に両方計画しているものがおっしゃるとおりある。その中で、県からの指導もあって、おおむねハザードマップが先行するということになる。工事のほうは年度の最後のほうにというスケジュールの中で、少しでもタイムラグがあって、そのハザードマップから工事までに時間があるような場合は、計画の中では両方まず計画を立てると。そして、実施の中でもし同時進行するようであれば、廃止工事のほうを先行してというような形で現在の計画はなっている。

本間 善和 わかった。結構だ。

第17款 財産収入

(質 疑)

本間 善和 地域経済振興課長にお願いします。先ほど土地の売却収入のところでは神林の工業団地1件、見込みだけでも、1,800万円ぐらいの令和2年の工業団地売り払いを予定しているというお話があったけれども、話できるのであれば県内の業者とか、どんな業種が入ってくるのかということで、差し支えない程度でお話しできればお聞かせ願いたいと思うが。

地域経済振興課長 令和2年度に売り払い予定をしている。G区画6,565.34平方メートルを売り払いする予定である。業者は、既に参入している木質バイオ発電関係の業者である。以上だ。

本間 善和 ちょっとわからないので、もう一度。今現在もう参入して、入って工業団地にいる業種が拡大して入るという格好でよろしいか、理解は。

地域経済振興課長 そのとおりである。

本間 善和 了解した。

竹内喜代嗣 37Pの地方産業育成資金県貸付金の件なのだが、今国会も開かれて補正予算というようにも言われていて、今の現在の経済的な市内の状況は大変な問題だと思うのだけれども、この預託金のことで、貸付金のことでお伺いするのだけれども、銀行の査定をクリアしなければ当然貸し付けはならないかとは思っているのだが、これらの条件について今後、月内にも恐らく何か動きがあるかなと思うのだが、今後の見通し等について、今わかる範囲で結構なので、お伺いしたいと思う。資金繰り困っている人というのはいくらもふえるかと思うので、お願いします。

地域経済振興課長 ただいま国、県のほうでさまざまな施策を打っている段階である。それらの状況を見ながら、市のほうでも今後対応を考えていかなければならないと考えている。以上だ。

第21款 諸収入

(質 疑)

本間 善和 農林水産課長にお願いします。雑入でたしか昨年度、山北の森林組合の解体という格好で2階、3階部分の負担金をいただいていたと思うのだけれども、そのときの説明で平成でいくと33年度か、令和でいくと3年になるわけだけれども、解体するのだという計画で負担金をもらって云々だという話したのだけれども、その計画は今現在どんな状況で進んでいるかお話し願いたいと思うが。

農林水産課長 昨年度説明いたしたとおり、今年度建物解体の設計を組んでいて、その負担金というふうなことであったけれども、いただいているけれども、解体については令和3年度に解体するという予定で、当初予定どおり今進んでいるところである。

本間 善和 そうすると、昨年度たしか18万円ぐらいの森林組合から負担金をいただいたけれども、ことしは計上されていないということは、いらぬのだということでもいいね。
農林水産課長 そのとおりである。
本間 善和 了解した。

歳出

第5款 労働費

(説明)

地域経済振興課長 それでは、歳出118P、119Pをお開きください。5款労働費、1項1目労働諸費、説明の1、労働諸費一般経費5,285万7,000円、ほぼ前年同額である。主な内容は、労働金庫への預託金5,000万円ほか職業訓練事業補助金、郡市雇用対策協議会負担金等である。続いて、説明の2、若年者職業自立支援事業経費407万4,000円、ほぼ前年同額である。若年無業者15歳から39歳、就職促進を図る事業の委託経費である。続いて、2目労働施設費、説明の1、勤労者総合福祉センター運営経費1,084万円、ほぼ前年同額である。勤労者総合福祉センタークリエート村上の指定管理料である。続いて、説明の2、村上高等職業訓練校運営経費104万3,000円である。前年同額である。職業訓練校の指定管理料である。以上だ。

第6款 農林水産業費

(説明)

農業委員会事務局長 それでは6款1項1目の農業委員会費だが、本年度の予算額が7,391万5,000円で、昨年度から553万4,000円の増額となっている。この主な理由といたしては、説明の欄1番、農業委員会事務局経費で新たに今回、今年度から郵便料として通信運搬費を計上したことなどにより38万7,000円の増、次ページ、121Pをごらんください。3番、農作業労働賃金標準額策定経費では今年度、3年に1回実施している参考賃借料の見直しを行う年となっていることから、委員報酬で50万4,000円の増となっている。4番、機構集積支援事業経費で、農地基本台帳システム用で使用しているパソコンの入れかえに伴う経費を計上したことから、173万5,000円の増となっている。5番、農地中間管理事業業務経費は、昨年度から農業委員会で業務を担当することとなり、昨年度は7月補正で対応させていただいたもので、今年度初めて当初予算に計上させていただいたもので皆増ということとなっている。6番、農業委員会事務局職員人件費は、事務局5人分の人件費で計上させていただいている。説明は以上だ。

農林水産課長 それでは、2目農業総務費の農業一般管理経費294万3,000円は、前年度とほぼ同額を計上している。続いて、次の122、123Pである。2、農業総務費職員人件費1億7,105万8,000円は、21人分の職員人件費となる。続いて、3目農業振興費の1、有害鳥獣対策経費は前年度とほぼ同額であるけれども、上から7つ目ぐらいか、新潟県広域被害防止協議会負担金、こちら15万円となっているが、県が主体となってライフル射撃場を新潟市秋葉区に建設する予定であって、来年度、令和2年度の調査設計費について市町村負担分均等割額を計上したものである。なお、建設については令和3年度を予定している。それから、下の有害鳥獣防止対策協議会負担金299万5,000円は前年度と同額である。それから、有害鳥獣捕獲の担い手確保事業補助金として88万2,000円計上している。これは前年度と同額である。2の農業振興経費であ

るが、農林水産業総合振興事業費補助金2,000万円は、歳入でも申し上げたとおり、農機具等の導入に係る県単補助事業に取り組む事業体に対する県補助分である。続いて、中ほどの就農支援事業補助金400万円であるけれども、これは市単独の事業であって、国の青年就農給付金に対して要件緩和を図って新規就農者を支援するものであり、1人当たり年間100万円を補助するものであって、4人分を計上したものである。その下、強い農業・担い手づくり総合支援交付金600万円については、これは国の補助事業であるが、農機具等購入に係る融資残に対する補助金である。それから、その下の農林水産業振興資金利子補給金30万8,000円については、平成30年の干ばつ被害と台風被害による県の8号資金に係る利子補給金を計上したものであって、その下の緊急農業経営安定対策資金利子補給金43万円については、こちらも平成30年の干ばつ及び台風によるJAにいがた岩船とJAかみはやしから融資を受けた復旧支援に係る利子補給金となる。一番下の青年就農給付金900万円については、国の事業で1人当たり年間150万円、これを6人分計上したものである。3の農産物生産・流通対策経費135万1,000円であるが、前年度とほぼ同額である。4、村上茶振興対策経費96万9,000円については、茶畑の整備技術向上のための予算で前年度とほぼ同額である。5の農業再生協議会等活動支援事業経費1,283万7,000円だが、前年度と比較して633万円ほど減額となる。次の125Pをごらんください。減額の主な理由といたしては、2つ目にある市単独事業の水田利活用推進事業補助金1,029万円だが、こちらは主食用米から非主食用米への転換を図ること、それから生産振興作物の維持、振興を図ることを目的に補助金を交付するものであるが、こちらを制度改正により対象者を絞り込んだことにより、減額とさせていただいたものである。そのほか昨年からは米政策の事業として創設された米生産の取り組み支援事業補助金等を計上している。6の機構集積協力支援事業経費196万8,000円であるが、こちらは主に人・農地プランの作成支援システム保守業務委託料となる。7の食の村上ブランド推進事業経費だが、村上食材プロモーション事業委託料550万円と村上食材サンプル送付奨励補助金100万円は、国の地方創生交付金事業を活用して実施するものであって、昨年度とほぼ同様となっている。

農業委員会事務局長 説明8番、機構集積協力支援事業経費は、農地中間管理事業を活用して農地の集積、集約化に取り組んだ地域及び経営転換した農業者に対するもので、今回は項目のみの計上とさせていただいた。

農林水産課長 9、担い手対策経費であるが、こちらは意欲的に取り組む担い手に対して、スーパーL資金借入れに係る利子補給金として34件分、76万円を計上したものである。10の中山間地域等直接支払交付金経費であるが、直接支払交付金として37組織分、8,943万8,000円を計上いたしている。返還金の30万円については、山北地区の朝日温海道路事業の用地買収された農地について県に返還することで、歳入でも申し上げたが、現段階で集落や面積が特定されているものではないけれども、即時対応が行えるように計上したものである。11の神林農産販売施設運営経費81万5,000円については、ほぼ前年度と同額を計上している。次に、4目畜産業費であるが、1の畜産振興経費、こちらについては村上牛生産振興対策事業補助金といたして2,960万円を計上している。1頭につき上限10万円を補助するものである。続いて、2の畜産基地経費については、前年度と同額計上である。次に、5目の農地費だが、1、農地等経費5億5,778万6,000円であるが、これ前年度と比較いたして1億1,280万円ほどの増額となる。次のページ、127Pをごらんいただきたいと思うが、上から3つ目

の施設維持保全業務委託料1,600万円については、排水路清掃委託料、排水機場の管理、農道清掃等で前年度比752万円の増額となる。1つ飛んで測量設計等委託料6,114万1,000円については、新たにため池のハザードマップ作成業務委託料、それからため池の廃止をするための計画作成業務委託料を計上している。中ほど下の工事請負費1億2,103万9,000円についてだが、3カ所のため池廃止工事に4,000万円、その他瀬波排水機場の逆流防止弁の改修工事等を計上している。そのほか前年度と同様に土地改良事業等の負担金、補助金等を計上している。2の農地・水保全管理支払経費については、多面的機能支払交付金3億4,071万9,000円であるが、こちらは140組織に対するものである。4の農業土木職員人件費2,605万6,000円については、3人分の職員人件費を計上しているものである。次のページ、128、129Pの6目農山村振興事業費だが、1の高齢者生産活動センター経費、2の上助涸コミュニティセンター経費については、前年度とほぼ同額を計上している。3の神林農村環境改善センター経費であるが、こちらは今年度低濃度PCB含有廃棄物コンデンサー処理委託料を新たに計上している。4の村上農村環境改善センター経費については前年度とほぼ同額、5の農村公園等経費であるが、次のページであるが、工事請負費といたして110万6,000円を計上しているが、これは上海府の農村公園の遊具撤去及び海府ふれあい広場の交流施設エアコンの修繕工事を計上している。次に、6の朝日まほろば夢農園経費については、前年度と同様の内容である。7、有機センター経費であるが、神林有機資源リサイクルセンターの攪拌機の改修工事請負費といたして1,089万円を計上いたしている。以上である。

観光 課長

説明欄8、交流の館「八幡」の経費になる。こちらは、12月の議会でご承認いただいた交流の館「八幡」の指定管理料の経費になる。以上だ。

農林水産課長

それでは、2項林業費である。1目林業総務費の1、林業振興一般経費573万4,000円については、前年度と比べて779万7,000円の減となっているけれども、前年度は林地台帳整備システムの経費として計上していたが、その分が減額の主な理由となる。そのほかは、ほぼ例年どおりの計上となる。2の林業総務費職員人件費6,883万3,000円であるが、9人分の職員人件費を計上している。次に、2目林業振興費だが、1の松くい虫防除対策事業経費、次のページをごらんいただきたいと思うが、松くい虫防除委託料といたして、こちらが面積が95ヘクタール、1,359万2,000円を計上したものである。2の市行分収造林事業経費であるが、こちらは市行分収造林事業委託料として保育間伐、下刈りに係る委託料934万3,000円を計上している。続いて、3の間伐推進経費であるが、こちらは前年度と同額を計上している。4の市産材利用住宅等建築奨励事業経費、こちらについても前年度と同額を計上している。5、造林推進経費であるが、再造林推進事業補助金についても前年度と同額計上である。6、森林整備地域活動支援交付金経費については、森林経営計画作成に係るもので、こちらが200万円を計上している。7、地域林業活性化事業経費であるが、こちらは森林環境譲与税を来年度交付予定額6,800万円予定しているが、そのうち4,500万円をこの事業に充当する予定となっている。新たな森林管理制度に対応するための組織体制を図るため、林業水産振興室に会計年度任用職員の分を計上している。それから、林業担い手確保のための事業として林業チャレンジ体験事業に120万円それから、木育インストラクターを養成するための委託料として60万円を、それから地域林政アドバイザーに係る経費として業務委託料435万6,000円を計上している。それから、村上市森づくり基本計画策定業務委託料といたして1,564万8,000円を、それ

から経営管理意向調査業務委託料として852万7,000円を、それから経営管理権集積計画作成業務委託料として827万4,000円を計上いたしている。それから、8の漆栽培事業経費であるが、こちらについては漆栽培事業補助金11万円は原木苗木の購入費補助として計上している。9の森林・山村多面的機能発揮対策交付金であるけれども、こちらは里山整備等を行う5活動組織に対する市の負担分として85万円を計上したものである。続いて、10の治山事業経費であるが、羽下ヶ淵地内の治山工事に係る設計業務及び工事請負費として計上している。次に、3目林道維持費になるが、1の林業施設経費であるけれども、2,569万6,000円については、施設維持保全業務委託料といたして1,478万2,000円を計上し、次のページ、工事請負費といたして575万9,000円については6工事分を予算計上している。2の林道改良経費5,664万3,000円であるが、測量設計等委託料に641万3,000円であるが、これは令和3年度に工事を行う箇所6路線の分となる。それから、工事請負費5,020万円については、7路線8工区分の林道改良工事分として計上している。続いて、水産業費であるけれども、1の水産業振興一般経費426万4,000円については、前年度比824万2,000円の減となるが、前年度は岩船港支所の海水導入施設、こちらに補助金として848万4,000円を計上した分であるが、この分が減となったものである。中ほど、下のほうに行って新規漁業就業者支援事業費補助金120万円を計上しているけれども、こちらは市の単独事業で1人分を計上したものである。そのほかは前年度と同額となる。2の水産業総務費職員人件費855万8,000円については、1人分の所要額を計上したものである。2目の水産業振興費であるが、1の三面川河口漁業施設経費及び2の野潟釣場安全施設経費については、ほぼ前年度と同額である。3のイヨボヤ会館の経費であるけれども、工事請負費231万2,000円とあるが、イヨボヤ会館の防火シャッター挟まり防止装置の取り付け工事を計上したものであって、一番下の機械器具購入費については除湿器2台分を計上したものである。それから、次のページの4の放流・資源確保事業経費であるけれども、518万円はほぼ前年度と同額計上である。次に、3目漁港管理費の1、漁港管理一般経費197万2,000円については、前年度とほぼ同額の内容となる。2、漁港管理費職員人件費862万1,000円については1人分の人件費である。次、4目漁港建設費の漁港施設整備経費、工事請負費で脇川漁港の砂揚げ場保全工事の1,550万円を計上している。以上である。

分科会長（川村敏晴君）休憩を宣する。

（午前11時52分）

分科会長（川村敏晴君）再開を宣する。

（午後 1時10分）

第7款 商工費

（説明）

地域経済振興課長 それでは、137P、続きからご説明申し上げます。7款1項商工費、1目商工総務費、説明の1、商工振興一般経費55万7,000円、ほぼ前年同額で、主な内容としては公用車リース料等である。説明の2、商工総務費職員人件費6,032万5,000円、商工関係職員8名分である。1Pめくっていただいて139Pである。2目商工業振興費、説明の1、中小企業金融制度経費6億8,571万8,000円である。こちらのほう地方産

業育成資金預託金等である。前年度ほぼ同額である。続いて、説明の2、産業振興対策経費1,100万円、こちらのほう産業支援プログラム事業補助金である。続いて、説明の3、商工団体経費2,236万1,000円、ほぼ前年度同額で、商工会議所、各商工会の経営普及指導、各事業展開にかかわる経費補助である。続いて、説明の4、住宅リフォーム事業経費6,000万円である。こちら平成27年度に制度創設以来、令和2年度で6年目となる。今月既に受け付けが開始されている。続いて、5、伝統工芸振興事業経費18万3,000円である。こちら1,263万6,000円の大幅減である。国の交付金事業である村上木彫堆朱プロモーション事業の終了による減である。以上である。

観光 課長 説明欄の6になる。物産振興経費になる。9,327万6,000円はほぼ前年並みの予算である。大きなものとしては、ふるさと納税の寄附者記念品代が9,000万円、それから越後村上物産会の補助金が227万2,000円ということである。

地域経済振興課長 続いて、その下である。3目露店市場費、説明の1、露店市場運営経費1,431万7,000円、ほぼ前年同額である。村上、岩船定期市場、村上、瀬波、岩船大祭の露店管理経費である。続いて、1Pめくっていただく。141Pである。4目企業対策費、説明の1、企業誘致経費395万1,000円である。こちらのほう20.2%増となっている。増の理由としては、新規雇用促進奨励金及び事業所等合併処理浄化槽設置費補助金の増分である。続いて、説明の2、定住対策経費183万円、こちらは旧村上市の制度である定住促進住宅建設資金の貸し付けについて、その残高の一部を預託金として金融機関に預け入れているものである。続いて、5目工業団地費、説明の1、工業団地経費293万8,000円である。こちらのほう約2倍の大幅増となっている。主な増理由としては、先ほど歳入でも説明させていただいたが、神林工業団地のG区画について売却予定であるため、土地の確定測量業務委託料を計上したものである。以上である。

観光 課長 6目の観光費になる。対前年比に比べてマイナス6.56%の減額になっている。説明欄の1番、居繰網漁の経費についてはほぼ前年並みである。それから、2番目のゆり花温泉施設経費については、工事費が送湯管の洗浄というメンテナンスの工事1件のみとなって、ここが670万円ほど前年よりも引かれているということである。それから、観光振興一般経費については、480万3,000円が対前年比より減額となっているが、これについては今年度までの観光バスツアーの支援事業の補助金400万円が今年度事業で終了することから、その部分がマイナスになったことである。それから、4番目の蒲萄スキー場の特別会計繰出金については、先ほど申し上げたように3,471万6,000円ということになっている。それから、観光費職員人件費ということで12人分の人件費が計上されている。それから、7目の観光施設管理費については、対前年比5.96%の増額となっている。こちらについては、説明欄1番で海水浴場の経費が1,294万5,000円となっている。それから、2番の観光諸施設経費ということであるが、ここについては工事費が対前年に比べて400万円ほどプラスされているが、これは市役所とクリエート協にある土地を利用して観光駐車場等をつくる、整備する予定であって、観光バス用の駐車場だが、それを整備する工事費で上がっているものである。それから、もう一つ、昨年にはなかったが、その他備品購入費ということで二子島の森林公園にスワンボートを1隻補充する予定である。それから、あらかわゴルフ場については、工事費についてコース内の目土工事とレストランの厨房エアコンの入れかえの工事を予定していてここが増額となっている。それ

から、みどりの里については、工事請負費で370万円となっているが、これは源泉ポンプのオーバーホールの工事になる。それから、5番目の村上市民ふれあいセンターについては、指定管理料の増額175万2,000円が対前年よりもふえているが、これが人件費と消費税のプラス分になる。それから、機械器具の購入費ということでワイヤレスアンプ1台を予定している。それから、8款1項1目の土木費のページになるが、次の147Pをごらんください。神林の道の駅の管理経費ということではほぼ前年同額の計上をさせていただいている。それから、朝日地区の道の駅の管理維持についても同じである。それから、4番目の山北道の駅管理経費については、来年度から指定管理に出すということであって、その指定管理料の計上。それから、指定管理に移行できなかったコピー機、それから冷凍ショーケース、レストラン券売機のリース料等を計上させていただいた。それから、工事請負費については高圧電源のケーブル交換ということで計上させていただいたし、それから機械器具の購入経費ということで休憩室のエアコンの設置を考えている。

第8款 土木費

(説明)

観光 課長

8款の157Pをごらんいただきたいと思う。8款6項の3目公園費についてである。この中の3番、4番、5番が観光の部分になるが、3番目、南大平ダム湖の公園経費ということで379万6,000円を計上させていただいた。これ修繕費について除湿機等の設置と受水槽のボールタップの2つの取り付けの修繕があって、昨年度よりちょっと金額がプラスされている。それから、4番のお幕場・大池公園経費であるが、これはほぼ昨年同額となる。それから、5番のお幕場森林公園経費についても昨年度とほぼ同額になるけれども、159Pの下から3つ目の施設維持保全業務委託料の部分なのだが、委託料、毎年計画的に仮払い等の計画を入れているのだが、今回その部分を見直して39万円ほど減額している。以上だ。

第11款 災害復旧費

(説明)

農林水産課長

202、203Pをごらんください。第11款の災害復旧費であるけれども、農林水産施設災害復旧費、1目農地農業施設災害復旧費及び2目の林業施設災害復旧費では、工事請負費にそれぞれ名目上1,000円を計上いたしている。以上である。

第2表 債務負担行為

(説明)

農林水産課長

それでは、7P、第2表、債務負担行為である。上から3つ目、村上市農林水産業振興資金利子補給金であるけれども、こちらは令和元年度の猛暑、台風等による被害に係る融資に対応する県の農林水産業振興資金(8号資金)の利子補給金であり、融資期間が7年目まで利率で1.45%に相当する利子補給金を令和3年度から令和8年度まで行うものである。続いて、その下、村上市漁業近代化資金利子補給金、こちらは令和2年度分であるが、新潟県信用漁業協同組合連合会から漁業者が融資を受けた資金の0.7%以内を償還期間令和12年度まで利子補給を行うものである。以上である。

歳出

第5款 労働費

(質 疑)

竹内喜代嗣 職業相談業務等委託料とか若者の自立支援ということで経費、委託料計上しているわけけれども、ちょうど就職氷河期に就職困難だった人が、私の知っている方でもかなり年齢が上になっても、自宅になかなか就職できなくて引きこもっているような方がいらっしゃるのだけれども、こういう職業相談に応じるようなことはこの所管ではないかもしれないが、いかがなものだろうか。

地域経済振興課長 ちょうど先週、その関係の文書が国のほうから来ている。今後氷河期時代の対応について、市のほうでも検討していかなければならないと考えている。以上だ。

川村分科会長 よろしいか。

第6款 農林水産業費

(質 疑)

小林 重平 農業振興費の中での有害鳥獣対策経費か、これ課長、被害年々ふえていると思うのだが、昨年はいかがであったか、被害状況というのは。

農林水産課長 済みません。正確な数字今ちょっと持ち合わせていない。申しわけない。後ほど。

小林 重平 それで、予算が昨年並みだということらしいが、予算だけではないのだろうけれども、いろいろ猟友会のメンバーが少なくなっているというようなことで対策も大変なのだろうけれども、やはり被害が、ちょっと話それるけれども、おととい荒川のほうでもイノシシが出たというあれがあった。あれいつだったっけ。おとといだったっけ。おとといか。セレモニーホール近くで。そのように我々のところまで出てくる。そうすると、やっぱり中山間地においては相当の被害が当然出ていると思う。とすれば、もっと対策講じるべきだろうと。柵等も当然だろうし、狩猟メンバーというのか、そういった育成というものも必要となると思うのだ。これは、そうすると課長というより副市長だと思うのだが、その辺のそういう対策をもっと練っていないと被害が増大するばかりだと思うのだけれども、その辺の対策についてのお考えをお聞かせいただきたいと思う。

副 市 長 今のご意見であるけれども、過去には生息していなかったイノシシもどんどん、どんどん増えてきているし、直接的な農作物被害については、具体的な数字は今申し上げられなかったけれども、やっぱり相当被害は出ているのだろうというふうに予測ができる。おっしゃるようにやっぱり農家の皆さん方がせっかく苦勞してつくられている農作物が最終的に収穫段階で鳥獣被害に遭うということは、営農意欲の低下にもつながるし、何よりも農業所得の減収につながるというふうなことで、これは大変困った問題だというふうに認識している。市といたしても県、それから国の制度等を活用しながら、これから徐々に増えてきているそういった対策について、もう少し踏み込んだ対策が講じられるように十分に連携をとりながら進めていきたいというふうに思う。

小林 重平 今のところで人的な被害はないみたいだけれども、これからそういうおそれも十分考えられるし、もう一つ怖いのは今豚コレラか、結構広がってきているという話もある。これも今のコロナウイルスと一緒に怖いものだから、その辺もあわせてしっかりと対策を講じていただきたいと思うが、いかがか。

農林水産課長 今ほどイノシシについても来年度については3段張りの、今まで猿であれば8段張

りの電気柵で対応しているけれども、来年はイノシシ専用の3段張りの電気柵も対策として講じていきたいなというふうに考えているし、今ほどご質問の豚コレラについても国の事業を使って、2分の1の補助事業を使って県内の養豚業者についても4つ、5つ、今5経営体の方が国の補助事業を使って侵入防止するフェンス、柵を設置するというふうな対策も講じているので、国の事業とも連携しながら、そういった対策も講じてまいりたいというふうに考えているところである。

小林 重平 ぜひそれこそ水際作戦ではないけれども、豚コレラも本当に怖い病気だから、市内の養豚業者にそういうことのないようにしっかりとお願いしたいと思う。答弁はいい。

本間 善和 重複して大変恐縮なのだけれども、副市長に。この鳥獣対策、私も一般質問でお伺いした。そのときは、明確にこのぐらいの被害が出ているという課長からの答弁もあったけれども、非常に私もこれを懸念しているのだ。それで、多分副市長も昨年度、今小林委員言ったように、イノシシのことについては山北というところ、一緒に視察して見たと思うのだけれども、非常にああいうところの、先進的なイノシシ対策をやっているというところもあるので、できれば、どうもうちのほうの鉄砲撃ちの猟師さんとか、そういう人に聞くと、イノシシについてはまだ未熟だという格好で、わなでとるにも銃で撃つにもまだ熟知していないというお声を聞くので、できればそういう方々の知恵をかりて講習会をやるとか、そういうお考えで進んでいっていただきたいと思うが、いかがか、副市長。

副 市 長 先ほど担当課長からもお話し申し上げたように、県が設置しようとしているライフルの射撃場の計画もあるし、今本間委員がおっしゃるような先進地で今まで取り組んできておられた、そういったノウハウも取り入れながら、具体的な対策に向けて検討していくということで進めてまいりたいというふうに思う。大変ありがとうございます。

川村分科会長 よろしいか。

本間 善和 はい。

小林 重平 副市長にお聞きするが、あなた答弁する機会ないから。農業振興費だけれども、全般的にいろいろ考えられているけれども、振興費の中で何かこれぞという、村上市の農業これだというインパクトがちょっと薄いような気がするのだ。これは、頭の痛いところだと思うのだけれども、やはりこの辺もうちょっと緩急つけて、今はとりあえず村上の農業はこうなのだ、振興はこうなのだということを私ははっきりさせたほうがいいのではないかと、はっきりというか、もうちょっと打ち出したほうがいいのではないかと。どれとは言わないけれども、その辺についてお考えがあればお聞かせをいただきたいと思う。

副 市 長 確かに予算的に見たときにこれだというふうな、いわゆる目玉的事业が少ないのではないかというふうなことのご指摘かというふうに思う。一方で、おととしからの米政策の改革によって、いわゆる国による米の生産数量の配分がなくなったというふうなことを受けて、市の農業再生協議会といたしては、売れる米づくりから売る米づくりへということで、業務用米等を含めながら販売の拡大に努めた、あるいはその生産拡大に努めてきたというようなところである。おかげさまで生産技術も相まって、一般質問でもお答えしたように、ことしは岩船産コシヒカリが4年ぶりの特A獲得ということで大変喜ばしい状況にもなっている。こういった環境を受けて、さらにこの岩船米を中心にした市の農産物、あるいはもっと言えば農林水産物を販

売拡大に向けて進めていきたいなということであるし、ただ一方で特にお米に関して言えば家庭用の消費量は減っているということであるので、特に評価の高いコシヒカリについては、やはりつくり過ぎてはいけないのだろうというふうな思いもある。幅広く水田を活用しながら、もう一つはお米以外の高収益作物、そういったのも導入しながら、県の政策等もあわせて今後進めていければ、より食の宝庫である村上市の農業が活性化していくのではないかなというふうに思っている。そういったことを含めて、この令和2年の予算には大きなそういったポイントはないように映るかもしれないけれども、今後関係機関とも十分に協議進めながら、JAさんとの協力も得ながら、具体的な方針が出せるように進めていきたいというふうに思う。

小林 重平

代表質問でもいたしたけれども、今地方市町村の一番の喫緊の課題というのは少子化であり、そのためにはやっぱり若い人が定住してもらわなければならない。そうすれば、やっぱり村上市の基本的な地場産業というのは農業の占める割合、ウェイトが大きいわけである。ぜひここにも担い手とかいろいろあるけれども、この辺はやはり後継者を育てるためにも、米をつくる、売るも当然だろうし、やはり担い手をもっと育成するような政策をしっかりと打ち出していただきたい。今やっているけれども、より一層強く進めていただきたいと思うが、いかがか。

副市長

第7款 商工費

(質疑)

三田 議長

今農業振興ということで小林委員からのお話があったけれども、多分これは副市長でなければ答えられないと思うけれども、数年前から本市の産業振興ということで産業支援プログラムの予算を計上していただいている。この金額についてどう所感を感じるか、ちょっと。

副市長

産業支援プログラムは、市の総合戦略の中で提案されて、それが制度として実現してきた。主にこれまでの実態を見ると、商工業者の利用が大変多く、そしてまた市外からの起業、そういったのにも活用いただいているなというふうに思っている。そこからすれば、もう少し予算はあってもいいのかなというふうな気はするが、以前は農業関係にもこれを適用するということで、特に6次産業化に向けた部分も含まれていたが、農林水産関係はどちらかというと国の交付制度が充実しているので、そちらのほうを主に活用していただく。したがって、商工業者にむしろ特化をしたというか、そういった活用を今後さらに宣伝をして、使って、活用いただくということにまずは向けていくのがよろしいのではないかなというふうに思っている。

三田 議長

やっぱり非常に使い勝手のいいあれだし、村上市のメインの多分施策だと思うのだ。

ただ、やっぱり金額ではないと言うけれども、皆さん財政難、財政難という中で、ずっと私もこの委員会審査聞いていると、前年並みということであるけれども、こういうところはちょっと伸ばして、そしてやっぱり若い人が起業するとか、そういう夢をつかませるような施策でもあるわけだから、もうちょっとこの辺はボリュームづけしていかないと、やっぱりちょっとあれなのではないかなということ。人口減少ということを考えると、やっぱり産業がしっかり育たないと、いわゆる村上市に活力がなくなるという観点からしても、ここはやっぱり工面しても予算づけすべきだと思う。全て金でないとはいえるけれども、こういうことに関してはしっかりと目配りしていただきたいと思うが、ご感想をお伺いする。

副市長 おっしゃるとおりかと思う。何よりもやっぱり人口減少する社会にあって活力を生み出すのは全世代の方々に頑張ってもらって、特に若い世代の方々が新たにこの地で事業を営む、そしてそれを拡大していくということは、この地域の活性化の第一の大事なところかというふうに思うので、令和2年度においてはご提示した予算ではあるけれども、今後そこにさらに力を向けていけるように、私としても努力してまいりたいというふうに思う。

川村分科会長 よろしいか。

小林 重平 企業対策費、地域経済振興課長に伺うが、企業誘致、現状はいかがか。

地域経済振興課長 企業誘致については市長のトップセールス、都内のほうに出向いてトップセールスもやっているが、それよりも今既存企業の拡大、そちらのほうにどちらかというところを注力して企業誘致のほうをやっている。以上だ。

小林 重平 今、はっきり言って製造業なんていうのは誘致してもほとんど来ないと思う。そうすると、何をということになると思うのだ。今課長答弁あったとおり、市内の既存の拡大とか、それしかないのだろうけれども、そこでやっぱりもうちょっと、これ予算的に見ると普通旅費か、このぐらいしか上がっていないわけだ。あとはトップセールスだということではなくて、もうちょっとやはり課長を先頭にアイデアを出してやっていかないと、市長はこれだけやっているわけではないので、もうちょっと取り組みを具体的にやはり示すべきだろうと。村上市に工場を建ててどのくらいの面積あるのだ、どの地域にどうなるのだということは、皆さんは知っているだろうけれども、来てもらう、村上市はこういうところがいいのだとかというのはやっていると思うけれども、はっきり言って聞こえてこない。村上市に行きたいなんていう企業なんていうのは村上市内においてもないわけだ。そうすれば、せめてまず県内とかターゲットを決めてやっぱりセールスをするべきだと思うのだ。ただ単に村上いいから来てくださいではなくて、ターゲットを絞ってやるべきだと思うのだ。副市長、いかがか。

副市長 企業誘致に関しては、まず今ほど担当課長が申しあげたとおりではあるけれども、おっしゃるようにこの地域の魅力発信については、観光分野ではいろいろその効果も出ているかなというふうに思うけれども、実際に事業をこの地でということに関しては、やっぱりいまちょっと弱いのではないかなという感じはしている。今後市長を先頭に担当課、それから私も含めて広くこの地を事業の候補地を選んでいただけるように努力してまいりたいというふうに思う。

小林 重平 課長、市長がトップセールスということは大変いいことだけれども、市長を差しおいてもやるような気持ちでやってください。頼みます、担当の皆さん。願います。以上で終わる。

竹内喜代嗣 商工業振興費の中で産業支援プログラムの中に入るのかもしれないなと思ってご質問するのだが、以前に問題提起したことはあったけれども、詳しい資料持ってこなくて申しわけなかったのだけれども、全国の自治体では幾つかの自治体でネットで自分の事業に対する融資を呼びかけて事業を進めるというようなことで取り組んで、自治体は何をやっているかという、その展開をするためのネットで融資を募って、それに応えられるかというのは本人の責任になってしまうわけだけれども、そのお手伝いをする、そういうシステムをとっているところがあるのだけれども、以前ちょっと提案したこともあったかと思うが、今後の検討の可能性はあるのかどうか、お伺いしたいと思う。

地域経済振興課長 ただいま委員おっしゃっている内容については、クラウドファンディングかと思うのだけれども、確かに他の自治体でクラウドファンディングに対する支援を行っている自治体がある。村上市に関しても、今後そういったあらゆる面から支援するような取り組みを検討してまいりたいと考えている。

竹内喜代嗣 ごめんなさい、聞くのを忘れた。副市長お願いします。市長の代理なのに、課長に聞いて済みません。

副市長 私もクラウドファンディングのことをおっしゃっているのかなというふうに質問をお聞きしていた。これについては、そういったノウハウ、それから相談についてはやっぱり積極的に受けていくべきだろうというふうに思う。ただ、個人個人の皆様方が事業計画を組む、その妥当性というのはやっぱりしっかりと見きわめる必要もあるだろうし、商工会議所、あるいは商工会とも連携しながら、起業に向けて適正な支援があれば、その指導ができるように市としても進めてまいりたいというふうに思う。

川村分科会長 よろしいか。

竹内喜代嗣 はい。

小田 信人 観光課長にお伺いするけれども、二子島森林公園の、昨年土砂崩れがあって通行どめになっておったわけだが、ことしの4月29日の島開きまでには復旧されるものかどうかお伺いする。

観光 課長 実はきょうの午前中に朝日の課長より話があったけれども、29日が若干おくれそうだというようなことで県から話があったそう。まだ時期的に正確な部分については聞いてはいないけれども、29日の部分については間に合わなそうだというようなことで話があったという報告を受けている。

川村分科会長 よろしいか。

本間 善和 観光課長、145Pのところ村上市前の観光案内、指定管理料という格好で計上してあるわけだけれども、以前、前任の課長さんのときに私お願いしたことがあるのだけれども、観光客の声という格好でアンケートの目安箱をつくるべきではないかなんていう話をしたのだが、その後どんな格好になっているか、ちょっとわかるか。現在どこかにあればいいのだけれども、まちの中とかどこかに。

観光 課長 案内所での目安箱というのは、ちょっと申しわけないのだが、今存じ上げていないのだが、お客様来館していただいたときには、ちょっとお話を聞かせていただいたりとかということがあって、どちらのほうからおいでになったかとか、そういうような部分については集計とかをとっていて、それでその業務の中の参考にさせていただいているというような状況はある。

本間 善和 実は今新型コロナという、こういう格好で皆さん、世間騒いでいるわけだが、一番

のやはり影響が出てくるのは観光業、それから食堂とかという格好で、やはりそういうところに影響が一番出てくるという懸念されるわけだけれども、私聞き取りとか云々なんていうのはマンツーマンなわけだけれども、そのときの一時的なのだけれども、年間を通じてずっと対応できるわけではないので、本当に簡単な、そういうどちらから来たかというような簡単な格好でアンケートみたいなのもあってもいいのではないかなという格好でお話したことあるのだ。やはりかなりのお客様がまちの中歩いたり云々しているわけなので。これからのお客様をふやすためにもそういうところのちょっと目配り、気配りしてもいいのではないかなと思うので、即答でなくて結構だけれども、検討していただきたいと思っている。以上で結構だ、これは。

小林 重平 観光課長、大池、去年もかなり日照りが続いたので、かなり水不足、池の水位が下がったのだけれども、ことしも恐らく水不足になるのではなからうかと。気候の問題もあるのだけれども、今現在改良区の用水からもらっているのだろう。勝手にもらえないということになっていると思うのだけれども、やはりあそこは今もう市民の憩いの場として、また結構県外からの方も寄って、いい観光地になっている。せめてやっぱり夏も水を結構張って、あそこでゆっくりと休んでいただけるというためにも水の確保というのが大きな問題だと思うのだ。井戸掘るというのもこれ金かかるのだろうし、これは副市長か、この辺の政治的な判断が必要かと思うのだが、副市長いかがか。

副市長 昨年確かに市民の方から非常に水位が下がっているというふうなお声もいただいて、神林支所を通じて対応させていただいたところである。確かに重要な観光資源でもあるし、環境を保全するというふうな意味合いからも適切な水管理は必要なのだろうというふうに思う。なお、具体的なことをもしあれだったら神林の産業建設課長からお答えをさせていただく。

神林支所産業建設課長 大池については、委員のおっしゃるとおり、昨年かなり水位が下がって用水路のほうから、用水路で要するに余った水という言い方はあれなのだけれども、用水として使わない部分を改良区にお願いして水を入れさせていただいたという経緯がある。ことしこの天気でも、おっしゃるとおり夏場の水不足が大変非常に懸念されているので、恐らく水不足となったときには、その用水の水を今までどおり大池のほうに引っ張ってくるというのは難しいのかなというふうには思っているが、何せ今時点で、今現在はおかげさまである程度水位確保しているので、今後の雨量とか、いろんな状況を見ながら、その辺また検討させていただきたいなと思っている。

小林 重平 副市長ご承知のとおり、あそこの大池はジュンサイの池としても大変有名だったわけだ。今はもうなくなって、どこ行ったのかわからないけれども、ぜひそういった水の確保を将来的にしながら、またジュンサイの復活ということも、これ観光の目玉になると思うのだ。ぜひそのようなことを考えながら、大池対策をとっていただきたいと思うので、副市長、いかがか。

副市長 ジュンサイの宝庫であったというふうなお話も聞いている。一方で、白鳥の飛来地としても近年は随分訪れる方が多いというふうなことであって、白鳥の飛来とジュンサイの育成というのが果たしてどうなのかということの学術的な裏づけとか、見解もやはり必要なのだろうというふうに思う。環境審議会というところにおいては、自然を大切にするというふうな意味合いからも、この大池に関してもいろんなご意見をいただいている。総合的に今申し上げたようなことを勘案しながら、

一つは観光資源としての大池、もう一つは特産物の復活というものが考えられるのであれば、そういった観点からもこれからも検討してまいりたいというふうに思う。

第8款 土木費

(質 疑)

本間 善和 山北の産業振興課長にちょっとお伺いしたいのだが、147Pの山北の道の駅管理費という格好で今回初めて指定管理という格好で計上してあるわけだけれども、いよいよあと残すところわずかという格好で、非常に期待しているので、1つお伺いしたいのだが、指定管理というのは12月のとき審議して決定しているわけだけれども、日用品のはっきり言えば販売とか、特産品の販売とかということを目玉に売り出して指定管理者の特徴を出していたと私記憶しているのだけれども、その辺のところの打ち合わせ等は地元の業者と今どんな格好で進んでいるか、ちょっとお話しできればと、詳しくいただければと思うが。

山北支所産業建設課長 今現在指定管理者になる方と打ち合わせのほうをやっている。4月1日から営業できるような形で今現在進めている。直営の業務については29日が日曜日、海里の運行日なので、その日は営業しなければいけないというようなことで、30、31ということで全部棚卸しをしてやる予定にしている。あと、日用品とか、そういうような特産品については、今現在の商品、委託業者さんそのまま引き継いでいただけるといような形で来ているので、その部分に関しては引き続きやっていく予定にしているし、日用品とか特産品、保管については今現在指定管理者になるところと打ち合わせをしながら、できるだけ多くのものを陳列、販売していただくようお願いしているところだ。以上だ。

本間 善和 結構だ。
竹内喜代嗣 せっかくだから、お伺いしたいのだが、神林道の駅では今非常電源の工事というふううたわれて、羽越工事かな、新潟国道だったっけか、やられているけれども、首かしげているから、聞いてもわからないかな。あそこの一帯の整備とどういう関連でやられているのかお伺いしたいのだが。

神林支所産業建設課長 今道の駅で行っている工事については国のほうで、羽越河川国道事務所のほうで行っている工事である。

竹内喜代嗣 議会では神林道の駅の女性のトイレをふやして団体客の観光バスの方が寄れる、休憩できるようになって、わざわざ新潟国道まで行って、新潟国道ではないな。

(「整備局」と呼ぶ者あり)

竹内喜代嗣 整備局まで来いとか言ってきたのだ。頼んできたりしたのだけれども、そういう何かいい話は聞こえないか。

神林支所産業建設課長 失礼いたした。羽越河川国道事務所のほうで今年度にあそこの駐車場の整備の工事を行った。トイレ工事についても計画には上がっていて、国のほうの説明では早ければ令和2年度にというふうな話も聞いているが、それはまだ確定ではないというふうにお伺いしているが、話としては進んでいるかと思う。

川村分科会長 よろしいか。

第11款 災害復旧費

(質 疑)

なし

第2表 債務負担行為

(質 疑)

なし

農林水産課長 先ほど小林委員のご質問の鳥獣害の被害額、ちょっとお答えできなくて大変申しわけございませんでした。今申し上げるが、令和元年、今年度の見込み値であるけれども、238万6,000円ほどというふうなことで、これは各集落に被害額の調査を毎年行っていて、その積み上げの額ということになる。以上だ。

川村分科会長 よろしいね。

○農林水産課、地域経済振興課、観光課及び農業委員会所管分の質疑を終わる。

分科会長（川村敏晴君）散会を宣する。

（午後2時00分）